



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社
コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 一也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大久保 俊哉

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,760	5.5	1,831	46.7	1,912	48.1	1,174	54.3
2020年3月期第1四半期	33,604	7.4	1,248	40.6	1,291	40.9	761	42.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,418百万円 (172.5%) 2020年3月期第1四半期 520百万円 (61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	12.07	
2020年3月期第1四半期	7.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	135,996	81,884	59.1	825.90
2020年3月期	144,956	82,840	56.1	835.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 80,410百万円 2020年3月期 81,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		13.00		24.00	37.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当10円00銭

(注) 2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点ですみやかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

・2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、公表しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点ですみやかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	97,500,000 株	2020年3月期	97,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	139,780 株	2020年3月期	155,980 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	97,353,395 株	2020年3月期1Q	97,373,060 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、公表しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点ですみやかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で内外需ともに急減し、極めて厳しい状況にあります。5月下旬に緊急事態宣言が解除されたものの、経済活動の再開は段階的であり、感染拡大の第2波への警戒感は根強く、極めて不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は31,760百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は売上原価および販売管理費の低減により1,831百万円（前年同期比46.7%増）、経常利益は1,912百万円（前年同期比48.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,174百万円（前年同期比54.3%増）となりました。

次に、事業セグメント別の概況をご報告します。

建築資材事業セグメント

住設建材事業は、主力のポリカーボネート製採光建材および住宅資材において、新型コロナウイルスの影響による巣ごもりでホームセンターでの需要が増加しましたが、建築工事全体の遅れ、延期等により減収となりました。また、サイン事業についてもユーザーの広告宣伝費の削減の影響を受け、企業向け需要が大幅に落ち込み、事業全体としては減収となりました。

床・建装事業は、床部門において、新型コロナウイルスによるマンション改修工事の延期により減収となりました。建装部門においても、新型コロナウイルスの影響で国内の建築物向けは大きく落ち込み、海外についても、新型コロナウイルスの影響により欧州、中国、アジア市場向け案件の遅延が発生し、事業全体としての売上は大幅な減収となりました。

その結果、建築資材事業セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は9,975百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益は476百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

環境資材事業セグメント

アグリ事業は、前年の中部・関西圏での風害需要の反動に加え、一部で生産者買い控えや事業物件の遅れ、延期等、新型コロナウイルスの影響も見られ、農業用フィルム・ハウス関連資材ともに伸び悩み、減収となりました。

インフラマテリアル事業においても、新型コロナウイルスによる工事遅延の影響がありましたが、災害復興物件および国内インフラ整備における一部工事物件の完工とハウエル管販売および更生管事業の堅調な推移の為、増収となりました。

その結果、環境資材事業セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は12,069百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は180百万円（前年同期は15百万円）となりました。

高機能材事業セグメント

高機能材事業は、海外向けを中心に半導体・FPD設備投資に回復の兆しが見られ、主力の工業用プレートが増収となりました。PETプレートも飛沫防止パネル向けが大きく伸長し、ナノ材料、大型濾過板も引き続き大幅な増収となりました。一方、光学用ポリカーボネートシート、眼鏡フレーム材料は新型コロナウイルスによる消費低迷の影響により大幅減収となりました。事業全体では総じて堅調に推移し増収となりました。

その結果、高機能材事業セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は4,290百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は399百万円（前年同期比92.1%増）となりました。

機能フィルム事業セグメント

ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および南米市場で苦戦したものの、北米市場における新型コロナウイルスによる巣ごもり需要により増収となりました。

サンジップ事業は、ジッパーテープが、日本国内、アジア、欧米を中心に堅調に推移し、増収となりました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,353百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は674百万円（前年同期比113.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より8,959百万円減少し、135,996百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品及び製品が増加したものの、受取手形及び売掛金、預け金が減少したことにより、流動資産が8,890百万円減少したことによるものです。

一方、負債は、前連結会計年度末より8,003百万円減少し、54,112百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等などが減少したことによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末より956百万円減少し、81,884百万円となりました。自己資本比率は、59.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言は解除されたものの、感染拡大の第2波への警戒感根強く、国内外の経済活動の停滞や、消費者の行動変化による影響が不確定であるため、合理的に算定することは困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点ですみやかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,746	10,668
受取手形及び売掛金	38,036	34,027
電子記録債権	7,182	7,766
商品及び製品	13,779	14,861
仕掛品	3,435	3,451
原材料及び貯蔵品	5,431	5,532
預け金	12,220	2,617
その他	1,378	2,387
貸倒引当金	△46	△38
流動資産合計	90,165	81,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,604	15,379
機械装置及び運搬具(純額)	9,272	8,999
土地	12,903	12,902
建設仮勘定	1,909	2,114
その他(純額)	2,333	2,614
有形固定資産合計	42,023	42,010
無形固定資産	2,956	2,845
投資その他の資産		
投資有価証券	3,274	3,580
繰延税金資産	3,598	3,400
その他	2,939	2,887
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,810	9,866
固定資産合計	54,790	54,722
資産合計	144,956	135,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,854	23,674
電子記録債務	4,488	4,024
短期借入金	5,085	4,435
未払法人税等	4,854	621
賞与引当金	2,204	1,099
その他	7,197	9,036
流動負債合計	49,683	42,892
固定負債		
繰延税金負債	476	415
退職給付に係る負債	8,986	7,518
資産除去債務	157	157
その他	2,811	3,129
固定負債合計	12,432	11,220
負債合計	62,115	54,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	30,981	30,981
利益剰余金	36,738	35,573
自己株式	△100	△89
株主資本合計	82,808	81,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△530	△319
繰延ヘッジ損益	△3	1
為替換算調整勘定	△536	△565
退職給付に係る調整累計額	△376	△361
その他の包括利益累計額合計	△1,446	△1,244
非支配株主持分	1,478	1,474
純資産合計	82,840	81,884
負債純資産合計	144,956	135,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	33,604	31,760
売上原価	24,424	22,501
売上総利益	9,179	9,258
販売費及び一般管理費	7,930	7,426
営業利益	1,248	1,831
営業外収益		
受取配当金	58	59
不動産賃貸収入	39	35
その他	67	78
営業外収益合計	164	173
営業外費用		
支払利息	33	13
売上割引	13	12
不動産賃貸原価	26	19
その他	48	48
営業外費用合計	122	93
経常利益	1,291	1,912
特別利益		
固定資産売却益	0	3
事業譲渡益	78	-
特別利益合計	78	3
特別損失		
固定資産処分損	4	24
投資有価証券評価損	46	-
特別損失合計	50	24
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,890
法人税等	542	664
四半期純利益	776	1,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	761	1,174

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	776	1,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	211
繰延ヘッジ損益	0	4
為替換算調整勘定	△243	△39
退職給付に係る調整額	△1	15
その他の包括利益合計	△256	192
四半期包括利益	520	1,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	1,376
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結財 務諸表計上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	11,624	12,519	4,137	5,229	33,511	92	33,604	—	33,604
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	177	562	9	805	—	805	△805	—
計	11,680	12,696	4,700	5,239	34,316	92	34,409	△805	33,604
セグメント利益	631	15	208	316	1,171	6	1,177	71	1,248

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結財 務諸表計上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	9,975	12,069	4,290	5,353	31,689	70	31,760	—	31,760
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	150	583	10	762	0	762	△762	—
計	9,993	12,220	4,874	5,363	32,451	70	32,522	△762	31,760
セグメント利益 又は損失(△)	476	180	399	674	1,730	△6	1,724	107	1,831

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。